

# 生物多様性を学び、保全につなげる環境活動 ボルネオ島での熱帯雨林再生活動とエコツアーを実施しました



富士通グループは、マレーシアボルネオ島において2010年11月、熱帯雨林の再生活動と原生林等を見学するエコツアーを実施しました。エコツアーは、生物多様性教育を目的として今回新たに実施したもので、社員や家族が生物多様性について学ぶ貴重な機会となりました。

## 熱帯雨林の再生を目指して

マレーシアボルネオ島にはかつて熱帯雨林が生い茂っていましたが、いまでは商業伐採や焼畑農業等の影響により原生種のフタバガキ科の木が伐採され、生育の早い外来種が植えられています。さらに、熱帯雨林の減少により元々生息していたオランウータンやボルネオ象等の動物が棲む場所もなくなってきています。そこで富士通グループは、2002年よりマレーシア国サバ州（ボルネオ島）エコ・フォレスト・パークでの熱帯雨林再生活動を実施しています。今回はフタバガキ科の苗木の植林に加え、外来種を枯らすための作業や過去に植林した苗木の生育状況調査も行いました。2005年1月に植林した場所での樹高測定では、昨年3mだった木が4m40cmに生長していました。またエコ・フォレスト・パーク内に生息している動植物を調査したところ、生態系の頂点に立つタカの仲間のミサゴも観察され、生態系が豊かになりつつあることを確認できました。



熱帯雨林再生活動の様子

## 生物多様性への理解を深める環境学習の場に

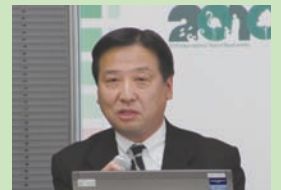
今回からは参加者の生物多様性への理解を深めるため、従来の熱帯雨林再生活動のみならず「マングローブ林について考える」「熱帯雨林について考える」「ボルネオ生態系について考える」といったテーマに沿って、国立公園内の熱帯雨林の原生林の実態や油やし畑等を見学するエコツアーも実施しました。

今後も富士通グループは、社員が生物多様性への取り組みについてより具体的に学ぶ機会を提供し、熱帯雨林の再生活動等を通じて環境保全に取り組んでいきます。

### 「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」参加報告

2010年10月に名古屋でCOP10が開催されました。富士通グループはB&B（ビジネスと生物多様性イニシアティブ）主催のサイドイベント「CORPORATE BIODIVERSITY MANAGEMENT-PRACTICALLY MEETS BIODIVERSITY」（リーダーシップ宣言署名企業の取り組み紹介）において富士通の生物多様性保全への取り組みをCOP10の参加者に紹介しました。

また、COP10併催の生物多様性交流フェアではフォーラムやステージイベントを主催し、生物多様性保全に向けたICTの活用や自然環境保全活動等の事例の紹介、マジックを交えた生物多様性保全の啓発イベントを実施しました。



B&B主催サイドイベントにて常務理事 環境本部長 高橋淳久



富士通グループは、先進的な環境への取り組みが評価され、環境大臣より「エコ・ファースト企業」として認定されました。



富士通グループはチャレンジ25キャンペーンに参加しています。



発行 富士通株式会社  
マーケティング本部 eマーケティング部  
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2  
(汐留シティセンター)  
印刷 富士通アプリコ株式会社

### 本誌ならびに本誌掲載の製品・サービスに関するお問い合わせ先

富士通コンタクトライン TEL 0120-933-200  
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)  
URL <http://jp.fujitsu.com/about/journal/contact/>



※本誌記事中のプログラム名、CPU名、システム名等は各メーカーの商標、または登録商標です。  
※本誌に掲載されている内容については、取材時点によるものです。  
※本誌はFSC™森林認証紙を使用しています。また、印刷インキは植物油インキを使用しています。  
©富士通株式会社 2011 本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。  
Copyright ©2011 by FUJITSU LIMITED WE0032-2011年1月AP